



こんな報告が出ました……！ 西日本防災システム

2015 02 26

2013年5月日本航空グループ会社のジェイエアのボンバルディア機で、着陸後にエンジン火災が発生した事故に関して、運輸安全委員会は2月26日、燃料噴射ノズルへの配管ナットが緩んで？燃料が漏れ出し、火災が発生したとする調査報告書を公表したそうです。???機長らが火災警報の誤作動だと思った結果、消火開始まで2分以上費やしてしまい、安全委はジェイエアに訓練内容の充実を勧告したようです。エンジンの分解整備を担当したIHIにも作業が確実に実施されるか再点検を求めたそうです。報告書によりますと、同機は2013年5月6日昼頃、大分空港から乗客乗員55人を乗せ、大阪空港に着陸直後、右エンジンの火災センサーの故障が表示、33秒後には右エンジンの火災警報が出たようです。小さな火災の場合は故障表示が送出される場合もあって、火災警報が出た段階で直ちに消火作業に入るべきところを、機長らは誤作動だと疑いながら駐機場まで機体を移動したようです。ようやく消火装置を作動させたのは警報送出から2分13秒後だったそうです。燃料漏れ発生個所のナットは手で回せるほど緩んでおり、分解整備時に十分締め付けられていなかったようです。エンジンの振動で緩んだ可能性もあるようですが、原因は特定されませんでした。このトラブル後の総点検で、同型機3機でも緩みが発見されており、いずれの機体もIHIが担当していたようです。



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 